

身体的な発達と自己との関わり 10月～12月



男子を中心に学年を越えて盛り上がっている野球は冷める気配がありません。あれからバッティングの技術は格段に成長し、打率もどんどん上がっています！少し前まではバッター以外にはあまり魅力を感じていなかった子ども達ですが、ピッチャーやキャッチャー、守備にも挑戦する姿が出始め、ますます野球らしくなってきました。目指せ！プロ野球選手！

すいすいさんとして過ごす時間も、気が付けば折り返し地点を過ぎました。”小学生になる”という実感がよりリアルに見えてきたことにより、気持ちの浮き沈みが大きくなってきました。みんな口々に「ずっと保育園がいい！」「このままみんなと居たい！」と、寂しさや、小学校に行く事への不安や戸惑いも大きいようです。お勉強も嫌だと口にします。お兄ちゃんお姉ちゃんがいる子も多いので、宿題や習い事で忙しい姿もたくさん見ていることもあるかもしれませんね。しっかりと未来を予測し、見通しが持てているからこそ、このような不安も感じるのでしょうか。学校は楽しい事もたくさんある事、いっぱい伝えていきたいなと感じる日々でした。

この時期、わがままやわざと大人を困らせるような行動が増えたのも、上に書いたような不安から来ているのだと感じていました。これは一見足踏みをしているようにも感じますが、そんなことはなく、子ども達の中での不安との葛藤や戦いの証で、しっかりと成長しているからこそ見られるものだと思います。しっかりと気持ちを受け止めてあげながら、見守っていた時期でした。

